



北斗句会

令和五年二月定例会（一日）

五十音順

特選

石田きよし選

柏手の凍てし御宮に響きけり

大崎石州

厄払友と一杯気力湧く

太田黒幸風

寒稽古眉間に刺さる気合かな

大森康正

特選 凍星や幾世変はるも君と添ふ

竹内雲泉

大寒や漢字浮ばぬ鯨のねた

田中資凡

天地替へ生气吹き込む冬の畑

長池豆陽

特選 雲梯に子の影ひとつ冬日和

藤田紀潮

晴ればれと七宮参りあたたかし

宮下ひかる

特選 大陸の凍る気団や雲早し

森田光彦



どちら欠くるも残るは独り祝箸

石田きよし